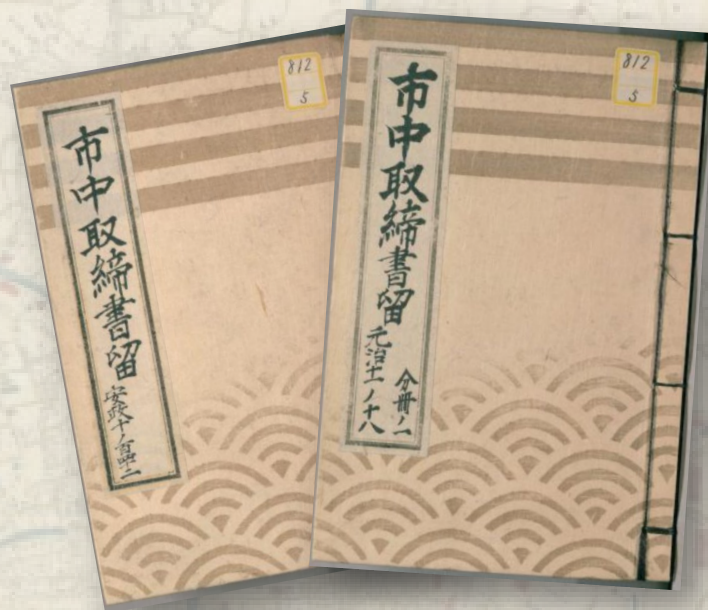


都市・周縁〈史料と社会〉科研・小円座

江戸の都市社会と史料



今回の小円座は、吉田伸之氏を中心とした「市中取締書留」研究会（略称「シトカ研」）との共催となる。冒頭で吉田伸之氏による「市中取締書留」の史料的性格、および同研究会に関する説明の後、高垣報告は、幕末蝦夷地で産する皮革の江戸への流れについて、特にラッコ皮に着目して考察する。また永原報告は、幕末期の訴願などから、当該期の車力のあり方や、他業種との関わりについて検討する。

下記テキストをご一読の上、ご参加いただけるとありがたい。各テキストは国会図書館デジタルライブラリで閲覧できるが、下記リンクにもナンバリングとトリミングしたPDFファイルがある。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

日時：2022年9月24日（土）14：00～17：30

場所：Zoom方式利用

報告：①高垣亜矢（お茶の水女子大学特別研究員）

「幕末蝦夷地の皮革と江戸」

②永原健彦（武蔵高校）

「幕末期の車力渡世」

①基本テキスト「市中取締書留145冊127～133コマ」

<https://drive.google.com/file/d/1YRiMoJZmVjR6B8k6rNtBTvXEzZjMIK0b/view?usp=sharing>

②基本テキスト「市中取締書留204冊53～62コマ」

https://drive.google.com/file/d/1nKGUzX0JkdcGf_68CwBF3_EStpEBM3/view?usp=sharing

※参加希望者は、都市・周縁〈史料と社会〉科研事務局(kinnseiosakakennkyuukai@gmail.com)

まで、事前にメールで申し込んでください(ZoomID・レジュメを送付します)。

主催：科研・基盤研究(A)「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置—〈史料と社会〉の視点から—」 **共催：**「市中取締書留」研究会(略称「シトカ研」)・大阪公立大学文学研究科都市文化研究センター(UCRC)

◇**科研事務局：**〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪公立大学大学院文学研究科 齊藤紘子研究室気付

※背景図：『天保改正御江戸大絵図』(天保7年)(国立国会図書館デジタルコレクション)